

学校法人ISI学園 専門学校長野ビジネス外語カレッジ

2023年度 シラバス

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネス日本語 I		（ NKT14B ）
講義名（コード）	ビジネス日本語 I A		（ NKT14BA ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	小須田 代吉	時間数	30
成績評価教員	小須田 代吉	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	将来日本で仕事に就きたいと考えている学習者が、社内外で遭遇するビジネスの場面において、良い人間関係を築きスムーズに業務を行えるようにすることを目的とする
全体の内容と概要	各課のN2レベルの新出語彙の意味・表現方法を学習し、会話、ロールプレイ、練習につなげる
授業時間外の学修	アルバイト先など実践で積極的に活用するように心がけてもらいたい。
履修上の注意事項等	「ビジネスコラム」を通じて、日本のビジネスマナーや習慣について学ぶ

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	「注意する・注意を受ける」ができる	前半は前回学習した語彙や会話を使用したロールプレイなどで会話練習をする 後半はビジネスコラムを読み、日本の会社のビジネスマナー、習慣を知る
2	「頼む・断る」ことができる1	頼む・断る際に頻出する新出の表現・ことばの意味・用法を学び、 モデル会話を理解する。
3	「頼む・断る」ことができる2	前半は前回学習した語彙や会話を使用したロールプレイなどで会話練習をする後半は ビジネスコラムを読み、日本の会社のビジネスマナー、習慣を知る
4	「許可をもらう」ことができる1	許可をもらう際に頻出する新出の表現・ことばの意味・用法を学び、 モデル会話を理解する。
5	「許可をもらう」ことができる2	前半は前回学習した語彙や会話を使用したロールプレイなどで会話練習をする後半は ビジネスコラムを読み、日本の会社のビジネスマナー、習慣を知る
6	「アポイント」をとることができる1	6課との区別をしながら許可をもとめる場面の違いについて理解する
7	「アポイント」をとることができる2	面識がある人、面識がない人にアポイントをとる
8	「アポイント」をとることができる3	提案する表現を学習する、約束を変更する表現を学習する。ロールプレイ
9	他社や企業に「訪問する」ことができる1	受付で取次を頼む、名刺をうけとる、名刺の受け取り方を学ぶ
10	他社や企業に「訪問する」ことができる2	丁寧な言葉で、その場を退出する表現を学ぶ
11	今まで学習した表現を使って会話できる1	インターンシップ参加の仕方、メールの出しかた
12	今まで学習した表現を使って会話できる2	面接時の立ち振る舞い
13	第1回～第12回の復習	復習
14	まとめと解説	テスト
15	まとめと解説	テストFB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	ビジネス日本語30時間
参考文献・資料等	
備考	